

ランランフェスティバルにご参加いただいた皆様、本当にありがとうございます。身を寄せ合っただけの観覧も感謝しております。...

当日に至るまでの出来事。どこかの学年がホールで練習を始めると、別のクラスがお客さんとしてやってきます。じっと観たり、わっと反応したり、パチパチと拍手を送る姿も見られます。...

園長 梶原 秀一

今月の予定

交通安全教室<年長児のみ> 3/1 (金)

最後はぞうグループだけの参加となります。教化員の皆さんと牛久シャトーを目的地にして実際に道を歩きながら、交通ルールについてご指導いただきます。

リトミック 3/4 (月)

今年度最後の中島先生にリトミックのご指導いただきます。立ち姿勢や音への反応など子どもたちの生活にも浸透しています。

保育参観 3/5(火)~7(木)、12(火)

各学年で日程を分けて保育参観を行います。子どもたちの成長を感じていただく機会となれば幸いです。詳しくは以前配布した手紙をご覧ください。

カレーライスの日 3/8 (金)

今年度最後のカレーライスの日です。みんなで作って、みんなで食べる。この思い出がずっと心に残っていると嬉しいです。

じゃがいも植え 3/13 (水)

園庭に作った畑にかえるG、きりんGがじゃがいもの種芋を植えます！大きく育ちますように！

お別れ遠足<年長児のみ> 3/14 (木)

最後の思い出作りでちょっと遠出をして遊びにいきます。詳しくは後日手紙を配布いたします。

小学校見学<年長児のみ> 3/18 (月)

牛久第二小学校の校内を探索させて頂きます！子どもたちにとってワクワクドキドキのイベントです。

誕生会 3/19 (火) 10:00~

3月生まれのお友だちをお待たせしました！待ちに待った誕生会です。保育園のみんなが一つ大きくなりますね。

リクエスト給食 3/22 (金)

ぞうGがみんなで決めたメニューがこの日の給食となります。これも楽しみ！

たびだちの日(卒園式) <年長児のみ> 3/23 (土)

第17回のたびだちの日です。保護者の皆様には後日詳細をお伝えいたします。この日は土曜日保育は行いませんのでご了承ください。

お知らせ・お願い

★延長保育・土曜日保育申請書について

延長保育、土曜日保育の利用申請書の提出にご協力頂き本当にありがとうございます。2,3月に利用される方全員が期限内に提出をされました。皆様のご協力のおかげで、提出後の集計がかなりスムーズになりました。引き続きご協力をお願いいたします。

★退職者について

調理員 中本 裕子 さんが一身上の都合で2月で退職となりました。保育士 吉岡 菜耶 先生が一身上の都合で3月いっぱい退職となります。皆様これまでありがとうございました。

★年度末～年度始めについて

令和5年度は3月29日(金)まで登園となります。最終登園日のお迎えの際には、お子さんの着替えケースの移動などクラスの引っ越しにご協力いただきます。詳細は後日手紙にてお知らせいたします。30日(土)の土曜保育は通常通りおこないます。令和6年度は4月1日(月)から登園となります。

★保護者会費での購入品

保護者会費で、ココロライブラリーの絵本・砂場用玩具・ソーラーライトを購入させていただきました。より良い園生活のために活用させていただきます。ありがとうございます。

★令和6年度保護者会総会

令和6年度の保護者会総会も書面決議で行うことが決定しました。4月以降になりますが、総会資料が出来次第、保護者の皆様にお渡しいたします。

★はじまりの日(入園式)

新しくふたばっことして仲間入りされる皆さんの令和6年度入園式を4月6日(土)に行います。この日は土曜保育を行いませんので、何卒ご了承ください。

文字や数への興味・関心
お正月が過ぎ、小学校入学を控える頃になると、「うちの子は、まだ、文字が書けない」と、焦りを感じる人が出てきます。文字や数に対する理解は、個人差が大きいために無理もないことだと思います。文字を学ぶのに適当な時期も、個人差があります。6歳か6歳半に達してからも遅くはないと言われています。幼児期には、統一的に学習させるのは、適当でないと思います。小学校に入ってからでも遅くないでしょう。入学時に、自分の名前が読めて、書ける、それだけでできれば良いでしょう。しかし、この時期にふさわしい生活があります。絵本の読み聞かせや、お話をすること、言葉を知ること、イメージネーションを育てることです。(但し、絵本の世界を楽しむだけにして下さい。決して質問したり、文字を無理に覚えさせたりしないでください。)日常生活の中で、必要な記号を覚えるとか、標識を知る、あるいは文字を書けなくとも、おじいちゃん、おばあちゃんに便りを送るといったことは、文字という抽象的な印を学ぶ前段階として大切なことです。そこから、自分の名前を表す記号として、「やまだたろう」と言うのが自分の名前を表すものだとか、木のプレート表示に何が書いてあるか、といった興味につなげていき

たいものです。▼また、数を唱えるだけでは、数を理解しているとは限りません。実際に、物をひとつずつ数えながら並べたり、対応させて、数を比べ、どちらが多いか体験するなど、数と量の具体的な場面で、具体的な経験をさせることにより、よりはっきりと理解できるようになります。幼稚園でも、グループの人数を数え、対応させて、数を比べたり、お知らせを配る時に、人数分だけ取って配ったり、日常生活の中で、物や人と対応していくようにしています。▼お子様一人ひとり、成長・発達の仕方が違います。文字や数を子供に押しつけず、生活の中で、興味・関心を引き出す工夫はしても、焦らず、ゆっくりと見守ってあげるようにして頂きたいと思えます。▼そうは言っても、小学校から受験など、私の時代では、考えられない現象がおこっています。そんなに早くから競争させて、子ども達は大丈夫なのかと心配です。しかし、最近、新しい潮流が少しずつ起きています。難関校を出ても、安定した企業などないほど、社会が急激に変化する時代に、求められるのは、偏差値より柔軟な思考力、個性、多様性です。大学、高校も、一般入試より、推薦、総合選抜での合格の方が多くなっています。学習内容も、暗記、計算より「探求学習」に比重が大きくなっています。自由に、伸び伸びと生活する中で、自分で考え、決断し、自分で行動し、体験する事が大切です。

理事長 浅田 精利